

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.11.22

No. 60



「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」

知らないことを人に聞こうとすると、「え、こんなことも知らなかったの」と言われるのが恥ずかしくて、中々聞けないということがありがちです。その時勇気をふるって聞いておけば後になって恥をかくことはありません。

会社に入れば自分の分からないことはいっぱいあるはずですが、そんなとき恥ずかしがらずに上司や先輩にきちんと聞くということは極めて大切です。また一度聞いたことでも忘れてしまうことは人間にはよくあることです。「前教えたじゃないか」といわれるのが嫌でそのときちょっと聞かず、自分の勝手な判断でやり、機械を壊したり、不良品を出せばその方がどれだけ上司からきつく叱られるか分かりません。私も若いときに、きちんと先輩に聞かずに自分の判断で行ったことでちょっとしたミスを犯し、いまだに自分への教訓として心に引っかかっていることがあります。

若いときは知らないことが恥ではありません。特に仕事に関わることであれば聞かれれば上司や先輩はきちんと教えてくれるでしょう。分からないことや知らないことはきちんと人に聞き、確実な仕事を心がけることが何よりも大切です。聞かずに後で大きな恥をかくより、早めに分からせることの方がはるかに大切です。

指示待ち人間はダメ



工業科の実習の際、生徒達が「次はどうしたらいい?」と聞いてくるのがしばしばあります。次にやるべきことを指示されなければ分からないことならばまだしも、自分で考えれば分かることまで聞くわけです。分からないことは聞きなさいと上で書きましたが、自分で考えれば分かることまで何でも指示されなければ動けないようでは困ります。

社会に出れば、基本的なことは最初に指示されますが、細部については現場で考え様々な創意工夫をしていかななくてはならないことが少なくありません。言われたことを言われたようにやり、しかもいつも指示されなくては動けないようではロボットと同じで、人として使いものになりません。人間の良さは、その場その場で臨機応変に判断し、様々な工夫を凝らしながら仕事をこなしていくことです。そこにその人の持ち味が出てくるのです。しかもそこでその人にしか出来ないような工夫をこらし問題を解決していくならばこれに過ぎるものはありません。

今の産業界は人と同じことをやっていたのではダメです。人が出来ないことや人が考えないような新しいアイデアを実現していくとき、そこに大きな価値が生まれてきます。それは人間でしかできません。

人に何でも聞けばよいものではありません。人から指示されなくては動けないようでは困ります。自分で考え、工夫できるそんな人材として社会に巣立って行って欲しいものです。さらには組織の中で君にしかできないことをこなしていくような人材になって欲しいものです。